

# 県連情報

群馬県生活協同組合連合会

前橋市大手町 3-19-3

TEL 027 - 234 - 2376

11月号 (No.86)

2016年11月4日発行

「県連情報」はホームページでもご覧いただけます

<http://gunma.kenren-coop.jp/>

Eメール: [mail@gunma.kenren-coop.jp](mailto:mail@gunma.kenren-coop.jp)

## 第48群馬県生協大会を開催

10月13日(木)

永年勤続者と優良活動団体を表彰、二部で新垣勉さんのコンサートを鑑賞

群馬県生協連は10月13日(木)、群馬県公社総合ビル多目的ホールにおいて、第48回群馬県生協大会を開催



第48回群馬県生協大会のようす

し、会員生協から組合員と役職員221名が参加しました。

第一部の記念式典では冒頭で、女屋美由紀実行委員長(コプぐんま理事)と八田直樹会長理事の主催者挨拶に続き、来賓を代表し



女屋実行委員長



八田県連会長

て、群馬県生活文化スポーツ部消費生活課課長星野真弓様、群馬県農業協同組合中央会専務理事池田隆政様から祝辞をいただきました。他に生活協同組合連合会コプネット事業連合常務理事中村憲治様にご出席いただきました。



県消費生活課  
星野課長



JA 群馬中央会  
池田専務理事



コプネット事業連合  
中村常務理事

続いて表彰式が行われ、会員生協から推薦を受け県連理

事会で優秀な組合員活動として認められた団体が表彰されました。受賞した団体は、グループ ウィズユー／ふれあいサロン喫茶ちえの話 (コプぐんま)、からまち東毛201223班／からまち東毛4138班



団体表彰のようす



永年勤続表彰のようす

(生活クラブ生協)、前橋地区サポーターくらぶ／スワダズ (パルシステム群馬)、伊香保支部／生協ボランティアあゆみの会 (北毛保健生協)、ボランティア・かたくりの会／片岡・八千代支部 (はるな生協)、伊勢崎支部／中央支部 (群馬中央医療生協)、みなかみブロック／月夜野東支部

真庭・政所合同班 (利根保健生協)、太田地区委員会 (よつ葉生協) の8生協15団体でした。

次いで「永年勤続表彰」では15年勤続44名と30年勤続23名の役職員を表彰し、出席した代表9名に、八田会長から表彰状と記念品が贈られました。

第二部では記念企画として、盲目のテノール歌手として著名な新垣勉さんによるおしゃべりコンサートが行われました。新垣さんはユーモアたっぷりのお話で参加者の心を和ませ、力強い声量で「この広い野原いっぱい」「アベマリア」「イエスタディ」など、なじみのある曲を披露し、臨場感たっぷりのコンサートとなりました。参加者からは、「とてもステキなコンサートでした。ジョークも楽しかったです」「心にずしんと入ってくる歌声にうっとり聴きほれてしまいました」「肩に力が入らずとても聞きやすかったです」などの感想が寄せられました。



第二部新垣勉さんのおしゃべりコンサートのようす

# 平成28年度群馬県総合防災訓練（館林）に参加

救援物資受け入れ・輸送訓練に3生協と県連8名が参加

9月3日(土)

平成28年度群馬県総合防災訓練が9月3日(土)、館林市の青少年ひろば(渡良瀬川河川敷)で行われました。マグニチュード8.1、震度7の大規模地震と強い台風に伴う大雨による水害を想定した訓練に、108団体から約千人が参加し、救助の手順や各機関の連携を確認し



ました。強い日差しの暑さの中での実施となりましたが、約3千人の市民が見守る中で訓練は行われました。

群馬県生協連は、群馬県との「災害時における応急生活物資の供給等に関する協定」に基づいて行なう救援物資等輸送・配布訓練に、コープぐんま(梅澤義夫理事長)、パルシステム群馬(反町幸代理理事長)、よつ葉生協(倉持まゆみ理事長)、県連から役職員8名が宅配トラック3台を持ち込んで参加しました。



# 「峰岸通さんの叙勲と八田直樹さんの受賞を祝う会」を開催

県、日生協、友誼団体、県内生協から35名が出席し祝いました

7月27日(水)



祝う会のようす

平成28年春の叙勲により本年5月6日に旭日双光章を受章した峰岸通群馬県生協連前顧問と、群馬県総合表彰に選ばれ本年5月17日県知事から表彰を受けた八田直樹群馬県生協連会長理事の「祝う会」が7月27日(水)、



祝う会呼びかけ人  
中嶋県連顧問



県生活文化スポーツ部佐藤部長

ロイヤルチェスター前橋で開催されました。

「祝う会」では、呼びかけ人の一人である中嶋源治群馬県生協連前会長理事(現顧問)から主催者あいさつがあり、群馬県の生協運動とその中軸となって奮闘されてきた二人の功績が高く評価されたものであることが紹介されました。

「祝う会」には、群馬県生活文化スポーツ部から佐藤裕子部長と消費生活課星野真弓課長、群馬県健康福祉部から食品・生活衛生課下田雅昭課長が出席して下さりそれぞれ祝辞をいただきました。また、日本生協連総合運営本部大本隆史本部長からもお祝いの言葉をいただきました。



勲章・賞状などの展示のようす

祝辞のあとお二人に「祝う会」から花束と記念品が贈られ、会場は大きな拍手に包まれました。吉田登群馬県生協連副会長による乾杯のあと、出席された団体・組織の皆様から祝福のスピーチをいただきました。



峰岸通さんご夫妻



八田直樹さんご夫妻

## 県連主催で医療生協監事交流会を開催

9月7日(水)



基調報告のようす

群馬県生協連主催、医療生協監事交流会が9月7日(水)群馬県公社総合ビル会議室で開催され、利根保健生協、北毛保健生協、はるな生協、群馬中央医療生協の監事さんと役職員、県連事務局18名が集い、学習と交流を深めました。冒頭県連八田会長理事から、「昨年度は



野本常務理事

地域生協なども含めた全体での監事研修会を実施したが、要望があり今年は医療生協の監事交流会を開催することとした」との経過説明とあいさつがあり、続いて日本医療福祉生協連の野本靖夫常務理事より「医療生協監事活動の現状と課題」と題して基調報告をしていただきました。

野本常務への質疑応答のあと、各医療生協から生協別に監事活動報告がありました。基調報告と生協別報告を受けての交流では、監査にかけている時間の違いから始まり、監事の役割と担当範囲の違いなどについて活発な意見交換が行われ、野本常務理事のアドバイスを受けながら、交流を深めることができました。

参加者からは、「監事の任務について理解できた」「各生協の個別事例がよくわかった」「具体的な事例をもっと知りたいと思った」などの感想が寄せられ、多くの参加者から「今後も継続して開催して欲しい」との要望が出されました。

## 地域生協3生協が実行委員会で平和を願う映画会

平和ミニコンサートと映画「サクラ花」上映会が行われました 10月5日(水)



司会の林さんと実行委員長佐藤さん

生活協同組合コープぐんま、よつ葉生活協同組合、生活協同組合パルシステム群馬の3つの地域生協が実行委員会をつくり、群馬県生協連が協力した「戦争と音楽（平和ミニコンサートと映画上映）」の会が、10月5日(水)伊勢崎市文化会館で開催されました。

第二次世界大戦末期に生み出された「桜花」という小型特攻機にまつわるドラマを映画化した「サクラ花」の自主上映会を、県内で活動する3つの地域生協が実行委員会をつくって取り組みを進めてきた

ものです。当日は、パルシステム群馬理事の林百恵さんが司会をつとめ、佐藤順子実行委員長（コープぐんま理事）から「日頃の活動は別々の生協ではありますが、この青い空と緑豊かな自然がいつまでも続くように、子どもたちがいつも笑顔でいられるように、これからも安心して暮らせるように、平和な世の中がいつまでも続くように、そして、戦争を二度と繰り返すことのないように、お互いこれからも手を取り協力していきましょう」とあいさつがありました。

平和ミニコンサートでは、荒井美幸さんのフルート、中台円さんのピアノにより、メンデルスゾーン「歌の翼に」、ショパン「ノクターン遺作」などの演奏が行われました。

参加者からは、「平和を再認識した。戦争はむごすぎる。あたりまえの家庭がなんて幸せなんだろうと思った」「とてもよかった。戦争の悲惨さ、残酷さが伝わってきました」などの感想が寄せられ、実行委員でもあるパルシステム群馬中嶋専務理事からは、「3生協と県連の協力による平和運動のヒトツノカタチになったのでは」とコメントが寄せられました。



平和コンサートのようす（演奏前）

## 県連女性協議会が視察研修会を開催

10月7日(金)

### 新潟中越地震から12年を迎えた山古志・小千谷地区を訪ねました



五十嵐さんの講演のようす (やまこし復興交流館おらたる)

県連女性協議会(松本勉枝会長)は10月7日(金)、震災から12年、地域の復興に取り組む新潟県山古志地区、小千谷地区への視察研修会を開催し、8会員生協・県連から42名が参加しました。



語り部  
五十嵐なつ子さん

山古志地区では、やまこし復興交流館おらたるにおいて、語り部・五十嵐なつ子さん

から震災とその後の復興についてお話をお伺いしました。五十嵐さんは、山間の地、山古志で復興に向けて何をしたらよいのかと考え、「雪深いところだが、おいしいものがたくさんとれ、食べものに困ったことはない。地元の料理を提供するお店をつくろう」と、農家レストラン「多菜田(たなだ)」を立ち上げ、代表として活躍されています。震災のあと、山古志をささえてくれた全国の方へ元気になった地域の様子を伝えることが「恩返し」との想いと語り、「かあちゃん(女性)が元気になると、とうちゃん(男性)も元気になる」と笑顔で話されました。

やまこし復興交流館おらたるでは、全村避難の様子や、地区の復興の様子を展示した展示コーナーを見学し、その後バス移動の車中から棚田を見学しました。

続いて小千谷市に入り、おぢや震災ミュージアムそなえ館を見学しました。ガイドさんに館内を案内していただき、震災3時間後、3日後、3か月後、3年後の各部屋で、「ビニールハウスに避難したときは、結露が大変だった」など、時々の教訓や心構えについて細かな説明を聞くことができました。

参加者からは、「震災を乗り越えての明るい話を聞けてよかった」「前向きになる考え方で、厳しい体験が自分たちの力になっているのがわかった」「最近地震が多く『こわいけどまだ先』と思い込んで生活しているが、目を覚ませと教えられた」「ミュージアムでは実際の体験の説明があり、これからの生活に活かしていきたい」等の感想が寄せられました。

おわび:当日は、事前にご案内していた「山古志弁当」の現地での手配ができておらず、食べていただくことができませんでした。視察研修会のメインの企画のひとつであり、参加者のみなさまも楽しみにしていたにもかかわらず、期待に応えることができませんでした。大変ご迷惑をおかけしたことをおわび申し上げます。

## 第60回群馬県消費者大会が開催されました

10月27日(木)

第60回群馬県消費者大会(実行委員長:八田直樹 県連会長)が10月27日(木)、群馬県勤労福祉センターで開催され、25団体101名が参加しました。大会では八田実行委員長があいさつし、来賓として参加された群馬県生活文化スポーツ部消費生活課星野真弓課長から「消費者の暮らしを守る活動を推進している皆様からも消費者被害根絶の取り組みにご協力をいただきたい」と祝辞と激励をいただきました。



消費者大会のようす

第一部は、針谷勉県消団連事務局長(コープぐんま)から基調報告を行い、NPO法人消費者支援群馬ひまわりの会の適格消費者団体認定実現のため、多くの人に知らせ支援を進めていきたいと提案したほか、群馬県へ要望事項を提出したこと、消費生活センターとの懇談を進めていることなどを報告し、承認されました。

第二部の記念講演は、「憲法ってなあに? ~憲法のこれから~」と題して、村越芳美弁護士(村越芳美法律事務所)にご講演をいただきました。

村越先生はまず「憲法って、誰のため、何のためにあるの?」と問いかけ、それは国民の権利を守るために権力者(天皇や政府、国会議員、公務員)が守るべきものと決められている、と指摘しました。ところが自民党の憲法改正草案では今の憲法の基本の部分が大きく変えられてしまっている、と実例をもとにわかりやすく解説していきました。

